
闇取引

松

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

闇取引

【Nコード】

N6927C

【作者名】

菘

【あらすじ】

闇の取引。決してやってはいけない。でも私たちは今、ソレをやろうとしている。ホントに大丈夫だろうか？ 明日から、私たちの平穏な毎日は一変する……

第1話 ハジマリ(前書き)

少々、グロテスクになるかもしれませんが、苦手な方にはあまりお勧めできません。

第1話 ハジマリ

「麻美アサミ！例のアレ、持ってきた？」

「モチロン ほらっ」

闇の取引。

決してやってはいけない。

でも私たちは今、ソレをしようとしている・・・

「ねえ莉菜リナ、ホ・・・ホントに大丈夫かなあ？」

「大丈夫よ。私たちは悪くない・・・悪いのはアイツだから」

本当に、大丈夫なのだろうか？莉菜の言っていることは正しいのだろうか？

でも・・・もうコレでアイツの顔、見なくて済むんだよね・・・

それに、もし警察にバレたって私たちは捕まらないよね。

捕まるのはあの人なんだから。

「もうソロソロ時間ね。あの人 cameたらちゃんと挨拶するのよ」

「う・・・うん。」

AM2:00、約束の時間になった。

そして、あの人が見れた・・・

「あっ！将也ショウヤさんっ」

最初に気づいたのは莉菜だ。

私は挨拶をした。

「お・・・おおお・・・おはっ・・・ようございませす?!」

緊張しすぎて声が裏返ったし!!!(泣；

・・・ヤバい。初っ端から何やってんだ私！！

「将也さんおはようございま〜す ごめんなさい、この子少し緊張しちゃってるみたいで」

お〜（喜） 莉菜、フォローありがとう！！

「ははっ、緊張しなくても大丈夫だよ、麻美ちゃん。それより早くアレが欲しいんだけど」

「アレなら、麻美が用意してますよ！ほら麻美、将也さんに渡しなさい」

私はバックの中から袋を取り出し、将也さんに差し出した。

「・・・大麻、8gです」

「うん ありがとう。でもホントにいいの？コレをタダで貰っちゃって」

将也さんは莉菜に尋ねた。

「はい、お約束通り、そちらはタダで差し上げましょう」

「うん、でもその代わり、そちらの頼みを聞く約束でしたね？」

闇の取引は・・・着々と進められていった。

「はい、えっと、・・・人を・・・殺してほしいんですけど」

これが、本来の目的。

全ては、アイツを殺してもらうため。罪を全部、将也さんに被ってもらうため。

果たして、将也さんはOKしてくれるだろうか・・・

いや、その可能性は低いだろう。だとしたら、大麻を返すか？

(一体、どんな反応をするのだろう……。)
私はソレが気になって仕方なかった。
多分、莉菜も同じことを考えていると思う……。

「殺してほしいのは何人？」

え？……ええ？！

将也さんは意外な返答をしてきた。

「

第1話 ハジマリ（後書き）

これからも、がんばって書き続けますので、完結まで皆様応援よろしくお願いします！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6927c/>

闇取引

2010年11月18日09時31分発行